

ボローニャ大学協定留学（交換留学）月例報告書（2023 年 5 月）

文化政策学部 国際文化学科 4 年 外川内瑞季

いよいよ留学生活も残り二カ月ほどとなった。今月は授業が終了するとともに、最終試験やプレゼンテーションなど、授業の集大成となる出来事をこなした月だった。

【Sistema politico italiano】

5 月 8 日、イタリア政治の授業でグループでのプレゼンテーションを行った。

私はイタリアのポピュリズム政党「北部同盟 (Lega Nord)」についての発表を、3 人のイタリア人学生の方々とともに取り組んだ。同じグループの皆さんは、とても親切で優秀な方々だった。留学生である私に対して、「一緒に頑張ろう！私たちがついていけるよ」と何度も励ましてくれて、プレゼンテーションの仕上げまで、たくさん助けていただいた。大学の庭園やカフェ、同じグループの子の自宅などで一緒に課題に取り組んだ時間は、私にとって忘れられないものとなった。

また、口頭のプレゼンテーションだけではなく、グループで一つのレポートも作成しなければならなかった。

レポートは、英語で書かれた論文を参考文献として扱い、イタリア語で執筆した。私もこれまでの学生生活でレポートを書いてきたが、参考文献で外国語の資料を使用したことはほとんどなく、日本語で書くなら日本語の資料を集める、ということが普通であったため、驚いた。しかし、彼らにとってはこのやり方が普通らしい。



勉強中の様子

私も毎日パソコンに向かって、いくつもの論文を読み、辞書も使いながら、自分の言葉でレポートを作成した。同じグループの皆さんに添削してもらいながらではあるが、約 1000 字のレポートを自分の力で書き上げられたことは、とても大きな自信になった。

そして迎えたプレゼン本番。緊張したが、落ち着いて発表することができた。約 15 分間、一人で発表す

る機会はこれまでの人生でもあまりなかったが、今の自分の力を精一杯発揮できたと思う。プレゼン終了後、同じグループの皆さん、さらには他のクラスメイトからも「Bravissima!」と声をかけていただき、とても嬉しかった。

はじめは、イタリア語でレポートを書くことも、プレゼンテーションを行うことも、自分ができるイメージが全く湧かなかった。しかし、同じグループの素晴らしい友達のおかげで、なんとかやりきることができた。本当に感謝している。とても貴重な、良い経験ができた。

約二カ月半、この授業を通して、自分自身大きく成長できたと思う。専門分野について、新しい知識やさまざまな見方を得ることができただけでなく、勉強と自分自身にしっかり向き合って取り組めた。大変なことはあったが、教授やクラスメイト、周りで支えてくれた方々のおかげで、最後までやりきることができて良かった。

【EU Institutions】

EU の授業でもプレゼンテーションを行い、自分の言葉で意見を述べることができた。

また、月末には最終試験が行われた。ボローニャ大学で試験を受けるためには、滞在許可証を提出し、ポータルサイトから試験日を予約する必要がある。記述式試験で、幅広い範囲の中からどのような問題が出るのか不安だったが、しっかり準備をして臨み、落ち着いて解答できた。その結果、試験に合格できたため良かった。

【授業・勉強を振り返って】

これまでの授業を振り返ってみると、自分の成長を感じた点がいくつかある。その一つが、人前でも手を挙げて発言できるようになったことだ。後期に受けた全ての授業で、自分から手を挙げて質問や発言ができた。私は決して、このようなことが得意な人間ではないが、いまを逃したら後悔するだろう、と思って勇気を出せた。また、留学生であるから、現地の学生より分からないことがあって当然！と思い、行動できるようになった。この姿勢を、今後の人生においても、良い方向で活かしていきたい。



(上) 発表中の様子

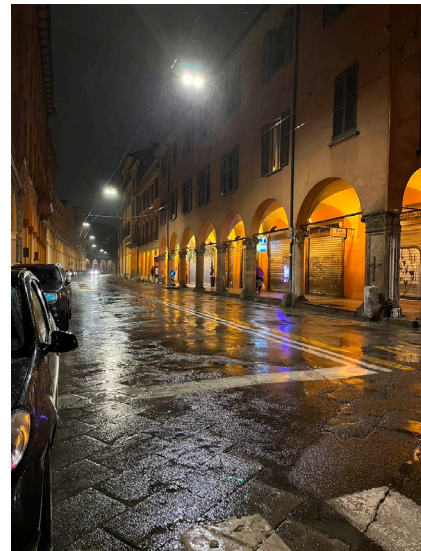
(下) 同じグループの皆さんと！

留学終了まで残り少なくなってきた。この数ヶ月は勉強に励んだぶん、あまり遠出をしていなかったため、帰国までに、めいっぱいイタリア・ヨーロッパを楽しみ尽くしたい。毎回同じことを言っているが、一日一日を、これから、もっと大切に過ごしていく。

※今月は、私たちの住んでいるエミリア・ロマーニャ州において、大規模な洪水の被害がありました。幸い、私や友人たちには何の被害もありませんでしたが、以前訪れたラヴェンナなどは特に被害を受けており、ニュースで衝撃的な映像を見ました。今後も安全や健康に気をつけて、元気で過ごしていきます。



みんなで pizza!
丸々一枚食べることに慣れました。



雨のボローニャ